

文化財石垣保存技術協議会会報

平成28年(2016) 第17号 —平成28年度事業報告—

実地研修(全国石工サミットinたかはた)

日時 平成28年10月1日(土)～2日(日)

場所 高畠町瓜割公園(山形県高畠町)
山形市周辺の石造遺構(山形県山形市ほか)

受講者 技能会員9名、技術・研究会員6名、一般会員2名、事務局1名、

研修内容

- ・手掘りによる石切実演・体験、石引き・石おろし実演
- ・山形市周辺の石造遺構巡検



石造遺構巡検



手掘りによる石切実演・体験



石引き・石おろし実演

会員の声

黒田 慶一(技術・研究会員)

高畠町瓜割石庭公園の全国石工サミットと翌日の山形の石の建築、土木遺産の巡回に参加した。いずれも非常に細かい点まで計画されたもので、短期間の研修であったが得るところが多かった。

まず石切り場跡である瓜割石庭公園の規模に圧倒された。露天掘りのみではなく、横穴で切り出していき、横穴内部にもはっきり溝堀跡が確認できることを知った。露天掘り部分は、「年輪」のように溝痕跡があり、石工の丁寧な仕事の跡を観察することができた。季節的に10月初旬の最も良い時期の研修だったが、山形の冬の厳しい中での作業に思いをはせるには十分だった。

高畠石は美しい黄色の凝灰岩で、その建築、土木遺産にも見るべきものが多い。旧山形県庁である山形県郷土館(文翔館)では、ちょうど映画のロケもやっており、その文化遺産としての価値は折り紙つきであった。

高畠石の手掘りによる石切り実演、石引き・石おろしの実演は、伝統をいかに後世に伝えるかという絶好の催しで、転石を中心とした石垣構築とはまた違った石工の工夫が見られ、文化遺産としての瓜割石庭公園ともども、絶好の教材となることを知った。

それとともに、山形名物「芋煮」はセッティングして下さった地元の方の瓜割石庭公園に対する熱い思いが伝わってきて、今後単に石切り場のみを顕彰するのではなく、地元の方を巻き込んだウェーブが必要であることを実感した。

東北芸術工科大学の教官、学生諸子の一糸乱れぬ構成力に、ただただ感謝するものである。

『日本の技体験フェア2016～文化財を守り続けてきた匠の技～』への参加

日 時 平成28年10月22日（土）～23日（日）
 場 所 ヤマダグリーンドーム前橋（群馬県前橋市）
 参加者 技能会員3名、事務局2名、
 内 容 会の活動内容紹介（パネル展示）、石工道具の展示、石割・石積みの実演・体験、石垣100選ポストカードの配布



石垣100選ポストカード



石工道具の展示と説明



石割体験



石割体験



間詰石体験



石垣模型の展示



石垣模型の説明

実地研修（第14回全国城跡等石垣整備調査研究会 金沢大会）

日 時 平成29年1月19日（木）～21日（土）
場 所 石川県文教会館ホール、史跡金沢城跡
（石川県金沢市）

受講者 技能会員 27 名、技術・研究会員 28 名、
一般会員 11 名、賛助会員 7 名

開催趣旨

テーマ 『石垣を守り伝えるために ―現状把握に基づき整備方法の選択―』

主 催 文化庁 石川県 石川県教育委員会

共 催 文化財石垣保存技術協議会

研究会内容

平成 29 年 1 月 19 日（木）

主催者挨拶	大西 啓介（文化庁文化財部記念物課 課長） 田中新太郎（石川県教育長）
共催者挨拶	松本 勝蔭（文化財石垣保存技術協議会会長）
大会趣旨説明	市原富士夫（文化庁文化財部記念物課）
基調講演 1	西形 達明（関西地盤環境研究センター顧問） 「石垣の安定と変形のメカニズムを探る」
基調講演 2	坂井 秀弥（奈良大学文学部文化財学科 教授） 「文化財としての城・石垣の意義とその保存・活用」

平成 29 年 1 月 20 日（金）

報 告 1	「史跡金沢城跡の石垣現況調査」 西田 郁乃（石川県金沢城調査研究所）
報 告 2	「史跡盛岡城跡の石垣整備」 似内 啓邦（盛岡市都市整備部公園みどり課）
報 告 3	「史跡岡山城跡の石垣整備」 乗岡 実（岡山市教育委員会文化財課）
報 告 4	「史跡和歌山城勘定御門東側石垣保護工事について」 西田 勝計（文化財石垣保存技術協議会）
報 告 5	「特別史跡熊本城跡の被災状況」 鶴嶋 俊彦（熊本市熊本城調査研究センター）
パネルディスカッション	「石垣を守り伝えるために」 パネリスト： 西形 達明、坂井 秀弥、北野 博（東北芸術工科大学教授）、和田 行雄（文化財石垣保存技術協議会副会長）、真鍋 建男（同幹事） 司会進行： 富田和気夫（石川県金沢城調査研究所）
まとめ	五島 昌也（文化庁文化財部記念物課）

次期開催地挨拶	鈴木 功（福島県白河市）
閉会挨拶	木越隆三（石川県金沢城調査研究所 所長）

平成 29 年 1 月 21 日（土）

現地視察	金沢城内石垣巡検 「戸室石石割実演」
------	-----------------------



松本会長の挨拶



西形評議会員の基調講演



西田幹事の報告



パネルディスカッション



石川県在住の技能会員有志による石割実演



石川県在住の技能会員有志による石割実演



石割体験

■新規加入会員紹介（平成28年12月17日・平成29年2月12日役員会審査）

会員区分	氏 名	所 属
技能会員	東 貴志	(有)林石材
	堀 貴喜	城南造園(株)
技術・研究会員	郷 正人	(株)鈴木建設
〃	境 吉彦	鹿島建設(株)
〃	佐川 正広	(株)鈴木建設
一般会員	鈴木 秀展	(非公開希望)
〃	佐渡 滋	
〃	林 幸泰	(有)奥田石材店
〃	森田 勝則	(非公開希望)

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたしますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へご返送ください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費（4月～翌3月）をお振込いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■事務局からのお知らせ

事務局では「会員証明」の発行を行っています。業務などで必要な方は事務局まで発行をご請求下さい。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

（平成29年 3月 31日現在）

技能会員	144名
技術・研究会員	98名
一般会員	35名
賛助会員	20法人
評議員	10名
合 計	307名(法人含む)

発行年月日 平成29(2017)年3月31日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890